

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@city.tomakomai.hokkaido.jp

第 9 号 平成 28 年 12 月 22 日発行



子ども達を輝かせるために

校長 一谷 浩之

本日で2学期が終了致します。振り返れば2学期は足かけ5ヶ月にも及ぶ長い学期です。8月の夏休み終了の暑い日から、真冬の本日まで子ども達は本当によく頑張ったと思います。私は毎日、各学級を巡回し子ども達の学習の様子を見ているのですが、子ども達が純粋に輝く瞬間に度々立ち会うことが出来ます。担任の先生方の教育技術と経験から意図的計画的にそんな場を生み出しているのです。

先週こぶし学級の「がんばり発表会」に招待されました。こぶしの子ども達が2学期頑張ったことを保護者や我々教師の前で発表する会です。音楽では鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏、体育ではキャッチボールや縄跳びなど、今学期頑張ってきたことを一人ずつ（ここが大切なのです）実演するのです。私は発表している時の子ども達の表情が大好きです。真剣な眼をして今取り組んでいることだけに全力を傾注している顔、緊張感みなぎる一瞬です。そして実演を終えた時の緊張感から解放された時の表情、達成感あふれる喜びの表情が教育の全てを表していると思うのです。がんばり発表会では他に2学期取り組んできたたくさんの課題の一部ですが、数列の短期記憶や作文などが発表されました。子ども達が純粋に輝く瞬間です。

特別支援教育は教育の原点であると言われていています。私は全くその通りだと思っています。子ども達の実態を把握し何を出来るようにするか目標を立てます。その目標を達成するための計画を立て努力の方法を考えます。こうして成功までの道のりを教師がしっかりイメージして子どもの指導に当たるのです。まさしく意図的計画的に教育課程を仕組んでいくのです。しかも一人一人の実態に合わせたオーダーメイドの教育なのです。

各学年学級を巡回している時に見られる子ども達の純粋に輝く瞬間は決して偶然の産物ではありません。各学級担任がそれぞれの学年の指導計画の下、指導過程を研究し板書計画を立て、何処で子ども達に疑問を持たせ、何処で解決のための努力をさせ、何処で解決の達成感を感じさせるか。教師の技量を発揮してこそその輝きの瞬間の発生なのです。学年の発達段階を踏まえた集団教育の中で一人一人を輝かせているのです。

清水小学校の教育は、このような一人一人の教師力を集めたチーム清水で行っています。益々のご理解とご協力を3学期もお願いする次第です。